

■事業報告（3月）

	期 日	行 事 名	参加者
1	3/5（木）	創造博 クラシックコンサート クラシックコンサート～偉大な芸術家の思い出に～	118名
2	3/6（金）	創造博 パーカッションコンサート パーカッションコンサート～魅惑のリズム～	115名
3	3/10(火) -15(日)	アートスクール発表会 展示の部 絵画、子ども美術、デッサンアート	417名
4	3/14(土)	アートスクール発表会 舞台の部 戯曲セミナー優秀短編戯曲上演会	145名
5	3/15(日)	アートスクール発表会 舞台の部 ヴァイオリン、フルート、クラシックバレエなど	387名
6	3/19(木)	カルテットの魅力は一生モノ！vol.4 シューマン：弦楽四重奏曲 第3番	58名
7	3/21(土) 3/22(日)	長久手市劇団座☆NAGAKUTE 第27回公演「夜と星と風の物語」	364名
8	3/26(木)	映像鑑賞会「FANTASIA」解説付	157名
9	3/27(金)	避難訓練コンサート 出演：愛知県警察音楽隊	189名

■今後の日程（4月）

	期 日	行 事 名
1	4/11(土)12:00	ガレリアコンサート「長久手フォレスト合奏団」
2	4/15(水)-23(木)	企画展「自画像のなかの画家たち展」
3	4/16(木)10:00/14:00	映像鑑賞会「喜劇の黄金時代」「未完成交響楽」
4	4/18(土)13:00	ボイス・パフォーマンス講座 講師：巻上公一
5	4/19(日)14:30	長久手フォレスト合奏団第11回演奏会

アンケートのまとめ（26年度自主事業 40事業分）

	結果	分析	改善点
アンケート回収	来場者のうち平均41%のアンケートを回収。	ペグシルを使用してから15～20%回収率が上がった。ただ、アンケートを記入する層が中高年に限られているように思われる。またリピーターも記入しない傾向にある。	回収率50%以上を目指したい。そのための工夫が必要である。回答者への優遇措置（抽選プレゼント等）など方法を検討したい。
評価	「大変良い」「良い」が98%を占める。「悪い」はほぼ0%。	公演に感銘を受けた方がアンケートを記入する傾向にある。	現状を維持する
情報入手	DMと口コミが各20～30%を占める。	来場者の年齢層、文化の家HPの現状やネット予約環境などから、チラシや口コミなどアナログな入手方法が先行している。	DM発送は、人件費と作業時間などコストが高く、丁合機の導入で効率性を高める。HPのリニューアルやブログやSNSの活用でウェブでのPRを充実させる。
住まい	市内からは36%、次いで名古屋市内在が25%であった。	名古屋からの来場者は、リニモなど交通アクセスの良さから近隣市町より来場者が多いと考えられる。	市内からの来場者の増加を目指したい。多様なジャンルの公演やまちなかでのイベントも必要と思われる。
年齢	60代以上で40%を占める。	経済的、時間的ゆとりのあるリタイア層の来場者が多い。ただし、アウトリーチなどの大半は10代であり、アンケートからは反映されていない。	中高年層のリピーターは維持しつつ、30～40代の子育て世代をターゲットにした事業を充実させることが必要と考える。

文化の家自主事業収支報告

室内で聴こう！シリーズ2014～カルテットの魅力は一生モノ！vol.4 3月19日(木)午後8時開演 1公演			
普及啓発事業 料金 1,000円(高い/0 やや高い/0 普通/7 やや安い/6 安い/2)			
・入場者	58名	・入場率	82.86%
		・収支率	57.50%
(公演委託費 100,000円)			
アンケート 16枚/58枚 (大変良い/8 良い/6 普通/1 良くなかった/0)			
<ul style="list-style-type: none"> ・知らなかった部分のシューマンを味わうことができました。今回もナビゲーター味がありよかったです。(一般公募モニター) ・親しみやすい曲でしたので、シューマンの他の曲も通して聴きたくまりました。メンデルスゾーンも全体を聴いてみます。(68歳・男性) ・心にジーンと来るような曲を選んでほしい。(80歳・市内・男性) ・演奏はととてもよかったです。山田さんのナビゲーターはもっと準備して話してほしい。間が抜けていて退屈！(48歳・男性) ・次(来年度)のシリーズも楽しみにしています。(70歳・市内・女性) 			

長久手市劇団座☆NAGAKUTE第27回公演「夜と星と風の物語 ～星の王子さまより」			
自主創造活動事業 料金800円～1,500円(高い/1 やや高い/0 普通/64 やや安い/28 安い/39)			
・入場者	364名	・入場率	49.32%
		・収支率	49.06%
(3,149,576円 指導料、演出料、舞台費)			
アンケート 146枚/364枚 (大変良い/55 良い/59 普通/10 良くなかった/1)			
<ul style="list-style-type: none"> ・この演目を選んだのはどうしてですか。とても考えさせられ素敵な演目でした。(47歳・女性) ・普通の芝居が見たい。難解です。(60歳・男性) ・舞台装置が素敵で皆さんがたのしそうに演じられている姿が印象的でした。(17歳・女性) ・子どもと来ました。子どもが時々笑っていて楽しかったようです。(43歳・女性) ・いす取りゲームのやりとりがおもしろかったです。(8歳・女性) ・星の王子さまの衣装がかわいかったです。とてもおもしろかったです。(23歳・女性) ・不思議な世界でした。遠くばかり見ていると近くの大切なものに気づかない…。ドキッとさせられる言葉でした。(50歳・女性) ・最後の婚礼の曲の音響に驚きました。砂漠の装置まで劇中の理論の中に存在していたことも面白く興味深い内容でした。(29歳・女性) 			

平成 27 年度事業方針

平成 27 年度文化の家事業は、従来の企画事業に加え、これまで行ってきた市民と積極的な連携によるまちづくりの推進を充実させるとともに広報面の拡充を主要テーマと考えます。また創造スタッフ制度の役割を充実化し、文化の家を特徴づける画期的な制度としてより発信力を高めていきます。

(1) 市民参画プロジェクトの推進

1. 新しい住民参画支援事業：映像鑑賞会のリニューアル（実行委員会形式の導入検討）
2. 市民参加による話し合い（ワーキンググループ）
3. 舞台見学会の拡充
4. モニター制度の充実化

(2) 情報事業の拡充

1. 広報アドバイザーの導入
2. マネジメント系（広報）創造スタッフの導入
ホームページ、ブログ、FB、ツイッターなどの更新、取材など
3. ホームページリニューアル
4. 情報誌（年 2 回）のリニューアル
5. 集合チラシ（年 3 回）のリニューアル
6. 広報ミーティング（月 1 回）
7. マーケティングの充実化

(3) 創造スタッフの充実

1. 若手育成（新規採用 音楽部門 3 名、広報部門 2 名 23～30 歳）
2. 役割の多様化（パフォーマンス、専門性の充実化）
3. マネジメント部門の設置（広報関係）
4. ながくてアートフェスティバル（美術系）